

活動内容

〈題〉 青山小PTA教養部学習会を振り返って

学級名 青山小家庭教育学級

学級担当者 長澤 忍

1 学級の組織ならびに学習のねらい及び重点

- ・ 構成員 6名
- ・ 学級の運営組織 青山小学校PTA教養部
- ・ 学習のねらい、重点 保護者のニーズに合わせた学習会を企画し、家庭教育が主体的に行われるようにする。

2 学習計画と活動の状況

回	日時	講 話 題	講 師 (職・氏名)	参加人数
1	令和5年 9月12日	発達障害の理解と対応	一戸町立奥中山小学校 副校長 岩井澤 通代 先生	30名
	10時~ 11時半	内 容 ・ 発達障害についての理論学習 ・ 発達障害児に対して、望ましい対応をするための実技演習	感 想 等 自閉症スペクトラム (ASD)、注意欠陥多動性障害 (ADHD) 学習障害 (LD) の内容と、対応方法についての具体的なお話で大変分かりやすかった。 また、参加型の演習だったため、実際にパニックになっている子どもに対し、どのような声がけをしていけばよいのかが理解できた。	
2	令和5年 11月27日	「自分からできる子」を育てる親の魔法の言葉とは	NPO法人いわてアートサポートセンター 東海林 千秋 先生	10名
	10時~ 11時半	内 容 働くお母さんとして子育てに悩み向き合ってきた講師が、後輩お母さんに贈りたい「自分も子どももちよっとらくになる」ワークショップ	感 想 等 言葉がけ一つで、子どもが変わっていくことを改めて知る良い機会となった。具体例が豊富で、すぐに実践につなげていけるようなお話であった。 また、子育てに悩んでいる保護者への力強いエールの場になった。	

3 成果及び今後の課題

(1) 成果・コロナ禍にあって工夫したこと

保護者のニーズに合わせた学習内容を設定したことにより、保護者同士が熱心に話し合うなどの主体的な姿が見られた。感染症拡大防止のため、こまめな室内の換気と座席毎の距離の確保を行った。

(2) 今後の課題

平日開催ということで難しい面もあるが、もっと参加者を増やしていくための対策を考えていきたい。講師先生のお話の内容がよかったことから、尚更感じているところである。

(3) その他 今後の「学びのつどい」の在り方に関する事等

引き続き、保護者のニーズにあった学習内容にしていきたいと考えている。